



## 【共通】

### ◆生育状況について

生育は、昨年より4～5日程度早い。結実は、品目により異なるため、結実状況を確認しながら、作業をすすめる。

### ◆当面する重点作業について

1. 薬剤散布を適期に実施する。

## 【プルーン・すもも】

### ◆栽培日誌提出について

出荷予定者は、下記期日まで提出する。

1. 提出期限：《プルーン・すもも ⇒ 6月23日（火）まで》
2. 提出方法：部会役員さん経由又は、直接流通センター・共選所まで。
3. 留意事項

- 1) 第8回薬剤散布までは、記入する。

すもも大石早生の出荷がある方は、個人で事前に提出する。

- 2) 栽培日誌の内容をチェックし、法的に問題がある場合は荷受・販売できません。
- 3) 提出されず出荷された場合、安全性が確認できないので荷受できません。

### ◆第8回薬剤散布について

1. 散布時期：6月12日（金）～16日（火） 

実際散布月日	月	日
--------	---	---
2. 使用薬剤（混用順記載）※調合量1000ℓ当り・10a当り散布量：400ℓ以上

農薬名	使用倍率	調合量	収穫前	病害虫
展着剤	10,000	10ml	—	—
フリントフロアブル25	2,000倍	50ml	前日	灰星病
㊞イカズチWDG	1,500倍	66g	前日	シンクイムシ類

### 3. 散布上の留意事項

- 1) 収穫中の品種には、薬液が飛散しないよう注意し散布する。
- 2) 果実同士が密着していると、果実に薬液がつかず、病害虫の発生を助長するため注意する。
- 3) 散布の際、ブルームの流れ、雫による薬斑軽減のため細かい霧で実施する。
- 4) 展着剤を「まくぴか」10,000倍（水1000ℓ当り10ml）にすると、均一に付着しやすくなり、乾きが早まるため、液だまりが減少する。
- 5) フリントフロアブルに代えて、スクレアフロアブル3,000倍（水1000ℓ当り33ml）を使用してもよい。
- 6) イカズチWDGに代えて、㊞ロディー水和剤2,000倍（水1000ℓ当り50g）を使用してもよい。なお、汚れがあるため、早生種は使用しない。
- 7) アメリカシロヒトリは巣網のうちに捕殺するか、焼却処理する。

### ◆仕上摘果について

仕上摘果の適正時期となる。玉肥大、隔年結果対策として、特に適正着果に努める。詳細は、前回情報No.5参照。

【なし】

### ◆第6回薬剤散布について

1. 散布時期：6月3日（水）～6月7日（日）

実際散布月日 月 日

2. 使用薬剤（混用順記載）※調合量1000ℓ当り・10a当り散布量：棚4500ℓ以上・立木5000ℓ以上

農薬名	使用倍率	調合量	収穫前	病害虫
展着剤	10,000倍	10ml	—	—
㊦ダイアジノン水和剤34	1,000倍	100g	14日	シンクイムシ類・ハマキムシ類
オキシラン水和剤	500倍	200g	21日	黒斑病・黒星病

3. 散布上の留意事項

1) 西洋ナシはサビ果が発生しやすいので、乳剤・展着剤は使用しない。

2) ダイアジノン水和剤に代えて、㊦オリオン水和剤1,000倍（水1000ℓ当り100g）を使用してもよい。

### ◆南水・豊水管理について

側枝基部から発生する新梢は伸長が良く、そのため側枝先端部が弱りやすい。

養分が先端まで移動するように、側枝基部の背面から発生する上向きの新梢は早期（木質化する前の6月中旬頃まで）に除去する。

### ◆西洋ナシ袋かけ実施について

1. 薬剤散布後7日以降又は、まとまった降雨に遭った場合は、オキシラン水和剤600倍（水1000ℓ当り166g）を特別散布し袋かけを行う。

2. 袋掛けの時期：遅くも6月上中旬頃までに掛け終えたい。

輪紋病の感染時期から見ると、できるだけ早い方がよい。

### ◆西洋ナシ管理について

1. 側枝の水平以下誘引：樹形の形成と早期花芽形成を図るため、枝の柔らかい6月中旬に実施する。

2. 新梢誘引：伸長が止まった7月下旬～8月上旬の時点で実施する。

### ◆令和8年度日本梨精算指数について

本年度の精算指数について、お知らせいたします。

階級	等級	秀	赤秀	無印
	8玉	164	155	122
10玉	152	128	99	
12玉	135	111	85	
14玉	100	90	70	
16玉	85	70	58	
18玉	63	50	42	
20玉	50	42	35	
22玉	38	32	30	

## 【おうとう】

### ◆収穫上注意点について

1. 樹冠上部、日当たりの良い所は優先して収穫する。
2. 出来るだけ午前中の涼しい時間帯に収穫する。
3. 着色したら反射マルチは除去する。長く敷いているとウルミ果の発生が助長される。

### ◆特別薬剤散布について

1. 散布時期：成熟期 

実際散布月日	月	日
--------	---	---
2. 使用薬剤（混用順記載）※調合量1000l当り・10a当り散布量：4000

農薬名	使用倍率	調合量	収穫前	病害虫
オーシャインフロアブル	3,000倍	33ml	前日	灰星病
コルト顆粒水和剤	10,000倍	10g	前日	オウトウショウジョウバエ

3. 散布上の留意事項  
1) 病害虫発生が心配される園は、特別散布する。ただし、収穫中品種への農薬飛散に注意する。

## 【うめ】

### ◆かいよう病防除対策について

春先より風雨が強いと発生しやすい環境になる。芽枯れ部やアメの出ている枝の切除を実施する。

### ◆豊後収穫出荷講習会開催並びに荷受開始日について

1. 講習会

開催日	曜	時間	集合場所	担当
6月8日	月	午前11:00	松代農業総合センター	伊藤

2. 荷受開始日：6月10日（水）より。早まる方は対応しますので連絡ください。

## 【あんず】

### ◆第7回薬剤散布について

1. 散布時期：収穫直前 

実際散布月日	月	日
--------	---	---
2. 使用薬剤（混用順記載）※調合量1000ℓ当り・10a当り散布量：4000ℓ以上

農薬名	使用倍率	調合量	収穫前	病害虫
オンリーワンフロアブル	2,000倍	50ml	前日	灰色かび病・灰星病・黒星病
㊦バリアード顆粒水和剤	4,000倍	25g	前日	シンクイムシ類

#### 3. 散布上の留意事項

- 1) 灰星病は、出荷上特に問題となる。品種により収穫期が異なるため、防除の徹底をする。  
山形三号に特に注意し、降雨が続いていても、晴れ間をねらい必ず散布する。
- 2) 収穫する品種は、散布後24時間以降に収穫とする。
- 3) オンリーワンフロアブルに代えて、オーシャインフロアブル3,000倍（水1000ℓ当り33g・収穫前日まで）を使用してもよい。
- 4) バリアード顆粒水和剤に代えて、ダントツ水溶剤4,000倍（水1000ℓ当り25g・収穫3日前まで）を使用してもよい。ただし、収穫前規制に十分注意する。

### ◆杏収穫出荷講習会並びに荷受開始日について

#### 1. 講習会

開催日	曜	開催時間	集合場所	担当
6月8日	月	午前10:00	松代農業総合センター	伊藤
		午後4:00	川中島 半田芳郎様園	松橋

2. 荷受開始日：6月10日（水）より。早まる方は対応しますので連絡ください。
3. 専門部役員会にて検討し、例年開催していた、個選荷造り「ハーコット」等講習会は実施せず、今回の講習会で説明を致します。